

- ▶ 本市は、名古屋市近郊にあり森林面積が少なく、愛知用水等を通じて水が供給されており、水源地の森林の恩恵を大きく受けている。水源地にあたる長野県木祖村の協力のもと、森林環境譲与税を活用し水源地の森林整備、木材利用を促進していく。
- ▶ 令和2年度においては、長野県産桧材を使用し制作された下駄箱を使い、市内中学校2校の木製下駄箱を更新した。

□ 事業内容

1 中学校下駄箱の更新事業

- ・ 長野県木祖村が、長野県産桧材を使用して製品化している下駄箱を購入し、市内中学校2校の下駄箱を更新。

【事業費】 9,294,450円（うち譲与税9,202,000円）

【実績】 木材使用量6m³



（事業1：更新した下駄箱の様子）

□ 事業スキーム

- ・ 長野県産桧材使用の下駄箱の制作を依頼
- ・ 費用は譲与税で負担



- ・ 長野県産桧材を使用した下駄箱を提供
- ・ 森林整備・木材利用促進

□ 工夫・留意した点

- ・ 下駄箱の老朽化が進んでいる学校が多くあり、税を活用することで、より多くの学校に対して下駄箱の更新が可能となるため購入した。

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	9,202千円
②私有林人工林面積（※1）	4.15ha
③林野率（※2）	2.0%
④人口（※3）	111,944人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より